

登山ガイドのホテルスタッフと行く

「行者還岳&春のナメゴ谷の桜観賞ツアー」



大台ヶ原ドライブウェイから大峯奥駈道・行者還岳を望む

天川村と上北山村を結ぶ R309 号線「行者還林道」にある絶景スポットで、緑色の針葉樹の中で尾根筋だけに山桜などの広葉樹が残された珍しい景観で知られている「ナメゴ谷」。秋の紅葉が“昇り龍”のようだと有名になりましたが、ヤマザクラ、クマノザクラの咲く春の新緑の時期もきれいです。定番の眺望ポイントに立ち寄ってから、とっておきのルートで世界遺産の大峯奥駈道・行者還岳を目指します。

行者還岳は、大峯奥駈道の大普賢岳と弥山の間位置し、南側は切り立った岸壁となっているため、役行者も一度は引き返したという伝承が山の名前の由来となるほど特徴ある形をしています。

<1泊2日>

※本プランは、最小催行人数 4 名（各回定員 6 名）として実施させていただきます。4 名に満たない場合は中止となります。

【開催日】

4月 17日（日）泊 【催行日】 18日（月）

「行者還岳&春のナメゴ谷の桜観賞ツアー」

日時：各宿泊日 フォレストかみきた集合（泊） チェックイン 15時～

翌日 7:00 朝食
8:00 ホテル発
8:40～50 ナメゴ谷観賞ポイント鑑賞
9:10 登山口発
12:10 山頂
15:30 登山口
16:00 ホテル着 帰着後、入浴

プラン参加料：1名1室 1泊2食 29,000円（税込み）／1人

2名1室 1泊2食 25,000円（税込み）／1人

（夕食時のワンドリンク、2日目の昼弁当、お茶、ガイド料、下山後の入浴料、保険料含む。）

※登山難易度：中級～

（高低差：約500m／歩行距離：約9km／歩行時間：約5h程度）

行者還避難小屋と行者還岳



行者還岳山頂



行者還岳山頂からの景色

中・上級者向け

紀伊山地の霊場と参詣道
世界遺産「大峯奥駈道」

平成16年7月、世界遺産に登録された紀伊山地の霊場と参詣道「大峯奥駈道」は、吉野と熊野を結ぶ修験道の修行の道として役行者の開山以来、1,300年の伝統をもち、今なお修験者に活用されています。その中でも上北山村地内約20kmの間の奥駈道は標高1,500m～2,000m級の高地となり、大峯山脈の中でも最も険しい参詣道ですが、その古道はブナ、トウヒ林等の原生林をはじめ、シロヤシオ、シャクナゲ等花木咲く豊かな自然道が昔と変わらずに保たれています。また、峯中最も険しい修行が行われた雪中参籠の行場「笙ノ窟」へは、和佐又山より登山道が整備され、比較的安全に訪れる事ができるようになりました。



■和佐又山周遊コース(周回コース・沢道コース・巨樹ルート等) 初級～中級

和佐又山は吉野熊野国立公園の大普賢岳から東西に派生した支陵に位置し、標高1344mの山頂からは大台ヶ原、八経ヶ岳、行者選岳などの世界遺産「大峯奥駈道」の峰々が一望できます。また、世界遺産の一部であり、京都・北野天満宮の創建にまつわる話のあるパワースポットの行場「笙ノ窟(しょうのいわや)」が後線にあります。この2つを目的地にパリエーションに富んだコースがあります。



※注意：地図上に描かれた登山コースは測量等おこなっていませんので誤差があり、登山道のコース変更等もありますので、常に道標や目印等の確認を行って下さい。